

Hand in Hand

「伸びる」ステージ $\frac{1}{4}$ が終了



今日で1学期が終了、『伸びる』ステージ $\frac{1}{4}$ が終わります。さて、どんな日々だったでしょうか。様々な「知識」や「経験」という“栄養”をたっぷり吸収し、すくすくと幹を伸ばし、枝葉を付けて、上へ上へと成長することができましたか。

本日通信票が渡されました。各教科の評定を見ると様々な思いがあふれ出てくると思います。ぜひ秋休み中に、通信票をもとに自分を客観的に見つめ、今後どうなりたいのか、どうすべきなのかを考える時間をとってください。今の自分を知ることはとても大事なことです。1学期頑張った自分を褒め、残念な部分は改善に向けて取り組み、「自分にはまだまだ伸びしろがある！」と前向きに考えながら、2学期の生活をスタートさせてほしいと思います。

★10月14日(木)の連絡★

*衣替え移行期間最終日です。15日からは冬服（女子リボン着用）です。

時間割 始業式（放送）、学活・23・24・25（給食）26・27・28

持ち物 通信票 通知表 授業の用意 はしセット 白衣
そうきん1枚 その他



決意を新に

10月7日（木）に行われた尚志式。校長先生の式辞や生徒代表のことばを聴き、それぞれが“将来の夢”に向けて決意を新たにすることができたでしょうか。いよいよ2学期からは後期課程に向けた準備期間に入ります。尚志式を機に一人一人がしっかりと心構えを持ち、生活と学習の両面から意識の向上を図ってほしいと思います。

なお、尚志式後に行われた後期課程に向けてのオリエンテーションでは、学習・生活・進路等の説明がありました。前期課程（義務教育）とは違う仕組み等が説明されましたが、『履修』と『修得』についてはよく確認しておきましょう。もし不明な点があればいつでも質問してください。



【保護者のみなさまへ】

思春期の子育てに効果的なアンガーマネジメント

尚志式の前に3学年PTA行事が行われ、約60名の保護者の方にご参加いただきました。今年度は講師として第一印象研究所代表の杉浦永子さんをお招きし、「思春期の子育てに効果的なアンガーマネジメント」と題して約70分間のご講話をしていただきました。

杉浦先生からは、“怒り”の仕組みや気持ちをコントロールする方法などを教えていただきました。アンガーマネジメント診断結果をご覧になった保護者の方は、今の“怒りの傾向やクセ”がわかり、怒りとの付き合い方を考えるヒントを得ることができたのではないのでしょうか。

ご多用の中、多くの保護者の皆様にご参加いただき、大変有り難うございました。そして、今回の行事を企画・準備等していただきました3学年委員のみなさま、大変有り難うございました。



尚志式 生徒代表のことば

仙台青陵初登校の日。私は、初めて着る制服に違和感を覚え、満員のバス、違う地域から集まった人たちと同じ教室にいることにも違和感を覚え、初めての体験ばかりの中で新に始まる学校生活に大きな不安を感じたことを、昨日のこのように覚えています。

あの日から約2年半が経ちました。私たちは今、前期最高学年として勉強や様々な活動に励み、半年後の後期課程への進級を控え、その準備期間に入ろうとしています。

この2年半を振り返って見ると、長いようであっという間でした。

入学してすぐのオリエンテーション合宿。1日目は緊張などでまだまだ素の自分を出すことができませんでしたでしたが、2日目には打ち解け合い、素の自分で周りと接することができるようになっていました。私は、そのとき初めて、その後始まる学校生活に期待と希望を感じました。

それからというもの、私は毎日訪れる『一日限りの日々』が楽しかったです。友だちとの何気ない休み時間の会話や一瞬の笑い合いは、勉強や部活の疲れなど何もかも忘れることができました。

ただ、もちろん楽しい思い出ばかりではありません。私の学年には十人十色、様々な能力を持った人たちが沢山います。私ができないことを周りのみんなは難なくこなしていて、その姿はとてまかっこよく見えました。その一方で、「羨ましい」という感情も少なからずあり、「周りの人には才能があるのに、何で自分にだけ何の才能も無いのだろう」と思うことがしばしばありました。しかし、「才能」を生まれながら持っている能力とするなら、私の考えは間違っていました。日々関わっていくうちに、周りのみんなが私の知らないところで、想像できないほど努力を積み重ねてきているということ、努力してできるようにしていることに気づきました。そのとき、「私も努力することで自分の可能性を広げられる」と思い、周りのみんなの努力を重ねる姿に憧れて、私自身も日々努力することを意識してきました。その結果、勉強面や部活面で成績を伸ばすことができました。「努力すればできる」ということを強く実感しました。

また、この2年半の半分以上は、新型コロナウイルスの影響で、いつもとは違う厳しい生活を強いられることになりました。やりたいことが十分にできず、物事がなかなか思うように上手く進まず、決して楽とは言えない日々だったと思います。コミュニケーションも思うように取れませんでした。十分な会話ができなかつたり、マスクがあることで感情が伝わりにくかつたりするなど、日常生活に支障をきたしていました。部活でも、練習内容や練習場所が制限されたり、練習の成果を発揮する大会なども少なくなりました。私自身のケガの影響もあって満足した十分な練習ができず、いろいろなことで悩み、苦しい時期もありました。また、疲れを回復させる場面や気分転換をする場面も少なくなりました。以前のように簡単には外出できなくなつたりするなど、活動の範囲が狭くなってしまったという人も多いと思います。

しかし、私たちはそのような生活を乗り越えてきました。この2年半の間、努力を積み重ねて力を伸ばすことができました。なぜならそれは、私たちを支えてくれた人たちがいたからだと思います。いつも私たちのことを気にかけて、よりよい学校生活にしてくださった先生方、一番近くで何から何まで配慮して支えてくれた家族。そして、何より支えになったのは、この3学年のメンバーでした。いつでも相談に乗ってくれて、いつでも明るく接してくれました。この2年半を乗り越えられてきたのは、この3学年のメンバーが、互いに協力し合うこと・支え合うことを忘れずに過ごしていたからだと思います。

私はこの最高の仲間とともに後期課程へ進めることをとても嬉しく思います。これからもまた、様々な壁にぶつかってしまうことがあると思いますが、そのときも助け合うことを忘れず、みんなで乗り越えて最高の学年を目指していきたいと思っています。

しかし、その一方で、後期課程へ進むことに不安も感じています。勉強面では、さらに難易度が上がり、今までの努力量や気持ちでは通用しなくなるのではないかと思います。また、勉強以外の様々な活動との両立についても難しくなるかもしれません。それでも私は、この仲間と一緒に壁を乗り越えられてきたという自信と、この仲間と一緒に進級できる安心感を支えにこれからも頑張っていきたいと思っています。

福澤諭吉のことばに「進まざる者は必ず退き、退かざる者は必ず進む」があります。絶え間ない自主的な努力を継続することこそ、前に進むことにつながるということ、現状維持だけでは衰退につながることを表しています。私はこのことばを胸に、努力することを忘れずに頑張っていきたいと思います。

ただ、努力したくてもできないときや、難しいときもあると思いますが、そのときは無理せず、ただ決して諦めなければ前に進めるので、諦めないことも大切にしながら、ここ青陵の地で歩み続けていきたいと思っています。

また、私には仙台青陵を卒業した兄がいます。何事にも努力を惜しまない兄はかっこよくて、私にとって憧れの存在です。その兄を越えていきたいと思っています。

令和3年10月7日

生徒代表